

③ 赤塚第二中学校訪問にむけての準備

プレゼンテーションの資料をグループで協力しながら作成しました。



④ 修学旅行当日

赤塚第二中学校の訪問では、準備してきたことをもとに安居中学校の紹介や日々の学校生活、安居中学校が目指していることなどについて発表することができました。また、赤塚第二中の生徒とも意見を交換しあい、お互いの学校の良さや課題を共有することができました。

職場訪問では、日ごろ学校では聞けない話やその道のプロとしての考えに触れ、新しい価値観を知ることで見聞を広げて帰ってくるすることができました。



⑤ 帰校後の新聞づくり

修学旅行を振り返り、帰校後に一人一枚新聞を作成しました。『思いで語ろう会』では、この新聞をもとにしっかりと仲間や後輩に話をするすることができました。



<進路決定>

小学校の頃とは違い、9年間の義務教育を終える中学3年生では卒業にむけて自分が将来どんな道に進んでいくのか決めなければなりません。そのためにはどんな学習をしていくのでしょうか？

自分について知る

自分の長所・短所
得意なこと 苦手なこと
好きなこと やりたいこと
(1年の時の進路クラブで自分を
みつめなおします。)

職業(働くこと)について知る

どんな仕事があるんだろう？
仕事の内容は？ どれくらい働くの？
やりがいは？ つらいことはない？
(1年の職場訪問 2年の職場体験
3年での職場訪問で学びます。)

上級学校について知る

どんな学校があるんだろう？
どんな学習をするんだろう？
どんな資格がとれるんだろう？
どんな学校生活を送るんだろう？
(2,3年の進路説明会 3年の体験入学)



こういった1年生からの進路学習をもとに、3年生ではいよいよ本格的に卒業後の進路を決定していきます。まず、自分が進みたい進路について調べ、十分な力をつけなければなりません。3年生での進路に関する日程は、大まかに次のようになっています。

<進学先決定までの流れ>

4月			全国学力調査(4月)
5月		1学期中間	確認テスト第1回 (1・2年全範囲)
6月			
7月	三者面談(進路希望の確認)		確認テスト第2回
8月			確認テスト第3回
9月	高校体験入学	1学期期末	
10月			確認テスト第4回
11月	学力診断テスト 進路説明会		
12月	三者面談(進路方針決定)	2学期中間	確認テスト第5回
1月	実力テスト 推薦入試		確認テスト第6回
2月		2学期期末	
3月			県立入試

7月 三者面談（進路希望の確認） それまでに担任の先生や家族と自分がどんな進路に進みたいのかよく相談しておきましょう。

8～10月 高校体験入学 自分が進学を希望している上級学校を実際に体験して、自分の希望にそむのであるかよく考えましょう。

11月 進路説明会 自分が今後どういう日程で進路決定していくのか、どんなことが必要となっていくのか再確認して決意を固めましょう。

12月 進路説明会（進路方針決定） 必要な情報をもとに、家族でよく話し合っって進路を決定します。

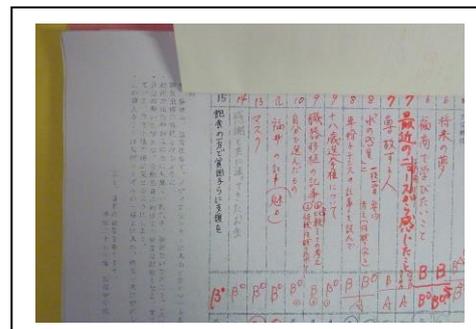
進路方針が決定したら… 受験にむけての準備を本格的に行っていきます。



<学習会>



<面接練習>



<作文練習>

先輩からのメッセージ

僕は小学校の時友達の影響からソフトボールを始め、野球をするようになりました。中学校に入学する時、親に勧められてオールスター福井に所属し硬式野球を始めました。最初はただやらされてるだけの練習でした。しかし、憧れの先輩との出会いが僕を変えました。彼は僕の練習を見てくれたり、残って練習をつけてくれました。僕は自分に自信をもち、甲子園に出場するという夢を持ち、そのための進路を選択しました。勉強と野球の両立は正直つらいものでしたが、夢があるからこそ頑張れました。何かをやり遂げようとするときは、親や友達の薦めもよいですが自分の意志が一番大事です。努力という言葉は勝手についてくるので、自分には力がないと思わず、強い気持ちを持ち夢に向かって頑張ってください。

私が志望校を決めたのは二年前の春頃で、学科を正式に決めたのは3年の夏頃です。母が行っている事務の仕事に興味を持ち、大学への進学も希望していることが進路決定の鍵となりました。志望校を決定してからは、多くの方に協力していただき、毎日作文や面接の練習をしました。また、それと平行して5教科の勉強もしなければならず、短時間で2つのことをするのはとても大変で苦しかったけれど、この期間を経て私はひとまわり成長できたと思います。志望校を焦って決める必要はありません。自分が興味のあることや本当に学びたいことをゆっくり見つけて下さい。勉強だけでなく部活動や日常の活動も全力で取り組めば自分の力になります。